

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
①	いなさ 稲佐の浜	未指定	『記紀』に描かれた国譲り神話の舞台。13.5km に及ぶ砂浜で出雲大社からも近い(西方1.2km) 弁天島がある浜は夕日を見に訪れる観光客も多い。本ストーリーの中心的な構成文化財。	
②	そのなごはま 藺の長浜	未指定	『出雲国風土記』に描かれた国引き神話の舞台。ヤツカミズオミヅヌが国を引いた綱が藺の長浜になったという。稲佐の浜と同じ浜を示し、夕日の絶景エリアとして親しまれている。	
③	ひのみさき 日御碕	大山隠岐 国立公園	日本海に突き出た島根半島の北西端に位置する夕日が美しい岬。古来、出雲は大和から見て北西の日が沈む地とされたが、日御碕は出雲の中でも最も北西端に位置する。本ストーリーの中心的な構成文化財。	
④	なごはま 長浜神社	未指定	国引き神話で国(土地)を日本海から綱で手繰り寄せ島根半島を造ったとされる神ヤツカミズオミヅヌを祀る。藺の長浜の中ほどに位置する。	
⑤	かんどがわ 神戸川河口	未指定	藺の長浜で河口を日本海に開く。弥生時代以降、他地域の船を内海の「神門水海」に迎え入れる海の玄関口としての役割を担った。	
⑥	いずもおおやしろ 出雲大社本殿ほか	国宝・国重文 建造物	国譲り神話でオオクニヌシが国を譲るとひきかえに建立を求めた「天日隅宮」(日が沈む聖地に建てられた宮)。本殿内部では、神座が西向き(稲佐の浜の方角)に設けられている。境内には全国の神々を迎えた際の宿舎となる十九社などもある。	
⑦	かみむかえ 神迎神事	未指定	旧暦10月10日の夕刻に、稲佐の浜で執り行われる出雲大社の神事。この神事により八百万の神々が全国から出雲に参集し「神議り(かむばかり)」をおこなうとされる。神々が集まる旧暦10月を出雲では「神在月」と呼ぶ。	
⑧	かみのみや 上宮	県指定 建造物	出雲大社の摂社。旧暦10月に全国から集まった神々がここで「神議り」といわれる縁結びの会議をされるという社。旧暦10月11日から7日間はこの社で神在祭が行われる。	
⑨	おおどち 大土地神楽	国指定 無形民俗文化財	大土地荒神社の氏子により300年以上伝承されてきた出雲神楽。神社の例祭では夕刻から夜を徹して舞われるほか近年では稲佐の浜での「夕刻篝火舞」で舞を披露している。	

⑩	びょうぶいわ 屏風岩	未指定	稲佐の浜から 50m ほど東に入った山手にある岩。この岩陰でオオクニヌシが「国譲り」の話し合いをしたという伝承が残る。
⑪	ふでなげしま 筆投島	未指定	平安初期、画聖といわれていた巨勢金岡（こせのかなおか）が写生しようとしたが朝夕刻々と美しさに変化する姿をついに描ききれず絵筆を投げたという伝承が残る。
⑫	つぶて岩	未指定	国譲りの際にタケミカヅチとタケミナカタが力比べのために稲佐の浜から岩を投げあったが、力は互角で何回も同じところに落ち積み重なった岩であるという伝承が残る。
⑬	いずもひのみさきとうだい 出雲日御碕灯台	国登録 有形文化財	日御碕のシンボルとなる灯台。この地が海上交通の要衝であることを象徴する建造物で、そのシルエットが夕日の美しさを引き立てている。「世界の歴史的灯台百選」の一つ。
⑭	ひのみさきじんじやしゃでん 日御碕神社社殿	国重文 建造物	スサノオを祀る神の宮（上の宮）、アマテラスを祀る日沉宮（下の宮）の二社がある。日沉宮は、太陽神アマテラスと日没の夕日を結びつける出雲ならではのユニークな観点といえる。
⑮	いずものくにふ じき 出雲国風土記 ひのみさきほん (日御碕本)	県指定 有形文化財	733 年に完成した『出雲国風土記』の写本。ほぼ完全な状態の写本が残るのは『出雲国風土記』のみである。
⑯	しろいとおどしよらい 白糸威 鎧	国宝 工芸品	日御碕神社の所蔵で鎌倉時代末から室町時代初期のものとする。アマテラスを祀る日御碕神社の隆盛を示す甲冑の優作。
⑰	つきよみしゃ 月読社	未指定	日御碕神社南東の山中にひっそりと佇む神社。日御碕神社の祭神アマテラス・スサノオの兄弟神であるツクヨミを祀る。この三貴子を近接して祀る事例は多くない。
⑱	ふみしま 経島のウミネコ繁殖地	国指定 天然記念物	ウミネコの繁殖地として有名な経島の名は、流紋岩の柱状節理が経巻を積み重ねたように見えることから付けられた。かつて日御碕神社の日沉宮があり、現在でも夕刻に行われる神幸神事の舞台となっている。
⑲	みゆき 神幸神事	未指定	旧暦 7 月 7 日（現在は 8 月 7 日）の夕刻、日御碕神社の神職が経島に渡り執り行う神事。季節柄、夕日を背景に行われることが多いため、夕日の祭りとも称されている。
⑳	うりゅう 宇龍	未指定	日御碕の東に位置する港町。戦国期には山陰屈指の貿易港として、また江戸時代には北前船の風待港として栄えた。周辺の海岸線はあまり知られていない夕日の絶景エリア。

⑳	<small>ごんげんじま</small> 権現島 <small>くまのじんじや</small> (熊野神社)	未指定	日御碕神社の末社である熊野神社が祀られる島。海草をくわえたウミネコが日御碕神社の欄干にこれにかけて去ったという故事にならって旧暦1月5日に「和布刈神事(めかりしんじ)」が行われる。	
㉑	<small>さざうら</small> 鷺浦	未指定	宇龍と並ぶ北前船の港。毎年7月31日の夕刻には豊漁と海上安全を祈願する「権現祭り」が行われ、大漁旗を翻した漁船が連なって港に浮かぶ柏島(かしわじま)を一周する。夕日を背景にした船影が美しい。	
㉒	<small>いのめどうくついぶつほうがんそう</small> 猪目洞窟遺物包含層	国指定 史跡	弥生時代から古墳時代の人骨が20体以上見つかり、『出雲国風土記』に記される「黄泉の坂、黄泉の穴」に当たるのではないかと注目されている。	